

科目名	ヘルスプロモーション展開論 (Health Promotion)			科目コード	304
開講学科	看護学科	選択区分	選択	単位数(時間)	1単位(30時間)
科目区分	専門科目	履修時期	4年次前期・後期	関連DP	看②③
担当教員	入野 了士、野村 美千江				
授業概要	人々の生活と健康を継続的にアセスメントし、地域特性や顕在的・潜在的な健康課題を見出す過程、健康課題に対する支援を計画・立案する過程、活動を展開し評価する過程について、砥部町のヘルスプロモーション活動等を基に教授する。また、事業の企画立案の考え方が理解できることを目指す。				
授業目標	1. 個人や地域の健康課題に対する支援を計画・立案する過程を説明することができる。 2. 保健福祉活動を展開し評価する過程(各事業のPDCA)を説明できる。 3. 担当した地区のニーズに応じた事業を企画立案評価の過程を理解できる。				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1	ヘルスプロモーションとは	ヘルスプロモーションの考え方 自治体におけるヘルスプロモーション活動	入野了士 野村美千江
2～3	砥部町のヘルスプロモーション活動の実際 一支援計画の立案・実施・評価の過程(PDCA)	①砥部町保健センターを拠点としたヘルスプロモーション自治体として住民の健康を守る施策と体制 ②町内地区の健康課題の明確化と保健活動計画立案 住民の声を活かした地域アセスメントと事業立案 ③砥部町高齢者の生活実態・健康課題と施策 地区の保健活動におけるPDCA ④砥部町社会福祉協議会を拠点とした住民力活用 地域の社会資源を有効に活用した地域福祉活動	
4～5	地区/小地域でのヘルスプロモーション活動の展開	○実習で担当する地区への支援計画 ヘルスプロモーション活動(健康教育)の対象と目的の設定 教育内容・方法、評価指標・評価方法の設定 ワークショップ型健康教育のテーマ案の提示	
6～7	担当地区への働きかけ(演習①)	個人企画案の披露、グループディスカッション グループテーマの決定、企画書の作成	
8～9	担当地区への働きかけ(演習②)	グループ健康教育の方法・内容の検討、教材の素材集め シナリオの作成	
10～11	担当地区への働きかけ(演習③)	健康教育の企画(内容、実施方法、評価)の披露と修正	
12～15	公衆衛生看護活動の評価、改善	実習地区を対象とした公衆衛生看護活動のまとめ ○地区診断・計画・健康教育の結果評価と改善 ○地区活動の総括と今後の活動への提案	入野了士
成績評価方法	個人学習の成果評価60%、グループ学習の成果評価40%		
教科書	佐伯和子編「公衆衛生看護技術(公衆衛生看護学テキスト2)」(医歯薬出版) 厚生労働統計協会「国民衛生の動向・厚生指標2019/2020」		
参考図書等	○宮内清子「保健師の基軸をつくる公衆衛生看護キーワード・ナビ」(インターメディカル) ○島内憲夫翻訳「ヘルスプロモーション—WHO:オタワ憲章(21世紀の健康戦略)」(垣内出版) ○L.W.Green著・神馬征峰翻訳「実践ヘルスプロモーション—PRECEDE-PROCEEDモデルによる企画と評価」(医学書院) ○医療情報科学研究所編「病気がみえるvol.2 循環器 第3版」(メディックメディア) ○「病気がみえるvol.3 糖尿病・代謝・内分泌 第4版」(メディックメディア)		
授業時間外の学習について	講義時間内に予習および復習に関する項目について提示 第10回終了時に、後期分の事前学習課題を提示		
関連科目	「社会の仕組みと健康」科目群、地域看護学・公衆衛生看護学の科目群		
備考	1～11回は前期、12～15回は後期に開講 実 野村美千江・入野了士:保健師(保健所)		